

# DTS XD10P

シネマ・オーディオ・プロセッサー



DTSは、歴史あるアナログシアターサウンド・システムで得た経験と最先端のデジタル信号処理技術をひとつにしました。その成果として、DTS XD10Pは、現在市場に数あるシネマ・オーディオ・プロセッサーのなかでも非常に優れた性能をもっています。

## 概要

XD10Pは、アナログ音源とデジタル音源の両方を正確に再生するために設計しました。最も要求の厳しい映画環境にも十分に対応できる処理能力を備えています。この1台で最大の費用対効果を得ることができるよう設計されています。とりわけ、DTS XD10シネマ・メディア・プレイヤーとあわせて使用すると、あらゆる再生条件に対応できる、操作も統合された使い勝手のよいセットを構成することができます。

XD10Pは、最大8チャンネルの高音質サラウンドサウンドを供給するため、マトリクス・デコーダー、イコライゼーション、ノイズリダクション、マスター出力ゲインなどの機能を備えています。各チャンネルには、それぞれスクリーン・チャンネルとサラウンド・チャンネル用に1/3オクターブのEQとサブウーファー用にパラメトリックEQを備えたバス・トレブルコントロールを装備しています。マトリクス・デコードも、イコライゼーション、AタイプとSRタイプのノイズリダクションも、最大限の柔軟性と広帯域の音質を保持するため全てデ

ジタル領域で処理され、全チャンネルにフルレンジの出力を備えています。

AチェーンとBチェーンの調整は、Windows®ベースのXD10Pセットアップ・プログラムでEQの設定値をひとつのチャンネルから別のチャンネルにコピーする機能をつかって素早く簡単に設定を完成させることが可能です。プロセッサーの設定値は、PCへダウンロードして、別のXD10Pへのコピーができ、またオリジナルの設定値を保持するためにバックアップとして保存することも可能です。PCでのバックアップに加え、XD10Pのコントロール基板上に搭載されたメモリモジュールを利用することもできます。このメモリモジュールにも設定値を保存でき、1台のXD10Pから別のXD10Pへ設定値データを移動させてその値を読み込ませられます。

XD10Pは、設置取り付けと保守に関しても入念に設計しました。信号処理はすべて、フロントパネルを取り外して簡単に触ることのできる3枚のプラグインボード上で実行されます。マトリクス・デコーダーが使用されているときは、セットアッププログラムが、ノンシンクトリムとサラウンドチャンネルを調整します。

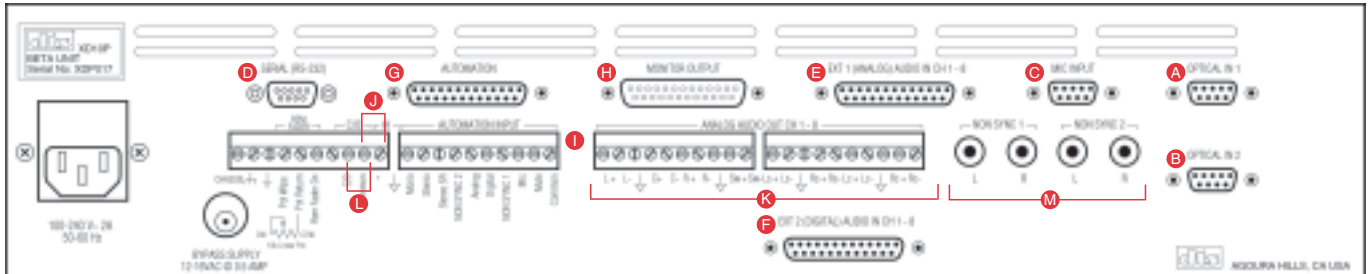
アンバランス入力でラインレベルのノンシンクソースは、RCAジャックの2ペアのうち1つに接続できます。2つのステータス/コントロールコネクタは、シアターオートメーションシステムや外部のデジタル再生機器とのインターフェースになります。いうまでもなく、DTS5.1チャンネルのデジタル再生は標準です。

## 特長

- 8チャンネル・アナログ入力と8チャンネル
- デジタル入力(AES/EBU)が、各種マルチチャンネル音源のインターフェースとなります。
- AチェーンとBチェーンの調整及びシステムセットアップ用に用意されたWindows®ベースのソフトウェアは、スペイン語、イタリア語、フランス語、ドイツ語、中国語に対応します。
- 取り外し可能なメモリモジュールで全システム設定値をバックアップできます。
- スクリーン・チャンネルとサラウンド・チャンネル用1/3オクターブEQ
- サブウーファー用パラメトリックEQ
- ステレオ・ラインレベルのノンシンク入力2系統
- 劇場内放送用のマイク入力
- 低ノイズプリアンプを装備したステレオ・プロジェクター入力2系統
- 各フォーマットに合わせたフェーダープリセット等の革新的オートメーション機能
- バイパスモード時は、リニアマトリクス経路でフォトセルからスクリーンへ信号を供給します。また観客に極力違和感を感じさせることのないようにステレオにセンターチャンネルにセリフを定位して提供します。
- バイパスモード時は、メインフェーダー・ノブでボリュームを調整します。
- 主電源はバイパスモード時にも電力を供給しますが、バックアップ用に外部電源(オプション)を使用できます。

# DTS XD10P

シネマ・オーディオ・プロセッサー



Rear View

## 製品仕様

### 構造

- 2U 19インチ・ラックマウント・シャーシ
- プラグイン・モジュールを楽に触れるよう、フロント・パネルは取り外し可能

### 信号の接続

- D-サブ 9ピンコネクタ(メス): プロジェクター1(A)、プロジェクター2(B)、マイクロフォン(C)、RS-232(D)
- D-sub 25ピンコネクタ(メス): アナログ8チャンネル入力(E)、デジタル8チャンネル入力(F)、オートメーション入出力(G)、モニター出力(H)
- ねじで取り外し可能なターミナルコネクタ: オートメーション入力(I)、聴覚障害者用出力(J)、ライン出力(K)、パルス切り替えとリモートフェーダー(L)
- RCAジャック: ノンシンク入力(M)

### 信号入力

- プロジェクター入力(2) 電圧: 5mV、インピーダンス: 370Ω、入力レベル調整: -24dBから+12dB (0.5mVから32mV) 高周波数ブースト: 10.5kHzから32kHz
- ノンシンク1入力 電圧: 300mV、アンバランス、インピーダンス30KΩ、入力レベル調整: -24dBから+12dB (75mVから2V)
- ノンシンク2入力 電圧: 300mV、アンバランス、インピーダンス(ライン)30KΩ、入力レベル: 300mV

- マイクロフォン入力 インピーダンス(マイク): 2KΩ、バランス 入力レベル調整: -24dBから+12dB (0.5mVから32mV) +9V ファンタム電源
- アナログ8チャンネル入力: 電圧(ライン): 300mV、アンバランス、インピーダンス30KΩ、入力レベル調整: なし
- デジタル8チャンネル入力: AES/EBU 8チャンネル、サンプルレート48kHz

### 信号出力

- アナログ8チャンネル出力: 電圧: 300mV、アンバランス、インピーダンス < 500Ω

### オーディオシグナルパス

- ヘッドルーム: 26dB (EQフラット) 20dB (フルEQブースト)
- S/N比: 80dB最小値、A-カーブ

### イコライゼーション

- サブウーファー: パラメトリック、25Hzから100Hzまで調整可
- その他: 27 1/3オクターブバンド、40Hzから20kHz
- レベル調整: ±6dB
- バス/トレブル: ±6dB

### オートメーション・インターフェース

- オートメーション入力(Dサブ 25ピンとねじ止めターミナル・ストリップ)
- アクティブ-ロー、モーメンタリ・ドライコンタクト・クロージャ(接点は持続されますが、次のオートメーション信号を作動させるには、1回接点を開放しなければなりません) オートメーション出力(Dサブ 25ピンとねじ止めターミナル・ストリップ)
- アクティブ-ハイ、1kΩの抵抗を介した5V(推奨する表示回路は、外部に付加した1kΩの抵抗をもつLED)

### 電源

- 内蔵型、フューズつきユニバーサル電源
- 100-240VAC、50/60Hz@0.5アンペア、自動切換え
- オプションでバックアップ電源を接続可能

### ハードウェア

#### 寸法

- W482.6mm × 266.7mm × H88.9mm (19インチ幅 2U)

### 保証

- 3年間



DTS, Inc. (本社)  
5171, Clareton Drive  
Agoura Hills, CA 91301  
USA  
phone: +1-818-706-3525  
fax: +1-818-706-1868  
www.dts.com

dts Japan 株式会社  
150-0022東京都渋谷区恵比寿南1-16-13  
エクセルTYビル4F  
電話: 03-5794-5288 Fax: 03-5794-5266  
www.dtstech.co.jp